



トヨタWG共通EDIの普及拡大と利便性向上 小島プレス工業株式会社

〇〇〇〇 (HP 寄稿通算回数)

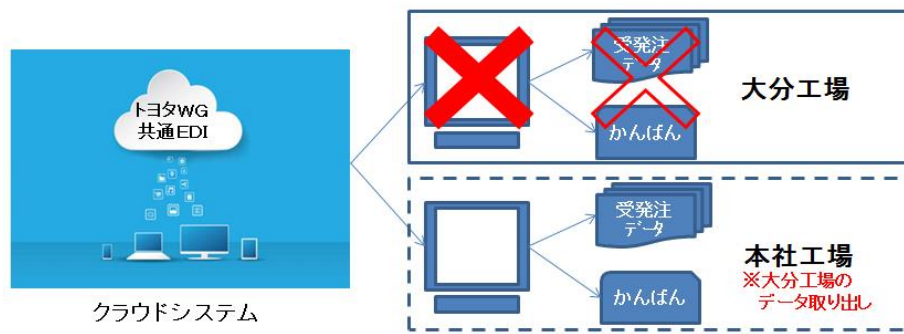
当社は『トヨタWG共通EDI』の普及拡大を推進しています。『共通EDI』は当社が2009年2月に経済産業省中小企業庁の委託事業として、その情報基盤を開発。企業間受発注システムの電子データ統合によって、受発注業務を大幅に効率化させるものです。その普及拡大を目指す『トヨタワーキンググループ』は、メーカー間の部品調達における標準的な仕組みを構築するために2010年に設立。当社は幹事会社として現地説明会や導入支援などに取り組み、現在までに約600社で導入されています。

2017年7月に発生した九州豪雨では、受発注業務の効率化以外にBCP（事業継続計画）の面で効果を発揮しました。当社の九州拠点である九州小島株式会社（福岡県鞍手郡小竹町）に製品を納入する大分県の仕入先工場が浸水で稼働停止。しかし、今回被災した仕入先では愛知県の本社工場と大分工場にすでに共通EDIを導入していたため、被災後すぐに本社工場で受注情報を把握できました。また、本社工場でのバックアップ生産では、共通EDIの運用ルールが標準化されていたため、納入遅れや納入品間違いを起こすことなく対応できました。

今後も共通EDIの普及拡大とさらなる利便性向上を目指して、様々な活動に取り組んでいきます。

幹事会社	トヨタ紡織株式会社 (代表幹事)	株式会社東海理化	小島プレス工業株式会社
メンバー会社	アイシン精機株式会社 株式会社東郷製作所 豊田合成株式会社	株式会社青山製作所 株式会社豊田自動織機 林テレンプ株式会社	株式会社デンソー トヨタ車体株式会社 矢崎総業株式会社
世話人	トヨタ自動車株式会社		

【トヨタ自動車株式会社を世話人として、12社で構成されたトヨタWG】



【被災した工場以外でのバックアップ生産を実現】